

未来を語る前に、今を生きろ

時代の移り変わりは、体感する以上のスピードで早く変化が起きています。社会の変化を作るのは、国でもなく、地域でもなく、各個人、個人が作り上げた事実が目の前にあるものだと思います。過去を語らず、未来を見据え、今を生きる為には、まず自分を知ることからが始まりだと青年会議所に入り気付かせていただきました。全ての物事において、一人で達成できている事はなく、多くの方の協力、支援があり成り立つものだと思います。時代は変わり、近所付き合い、友人知人の付き合い方の変化があり戸惑いも多い方が多いのかと思います。多種多様な意見がある中で、時代が進み、ロボットと生活する人や、バーチャルな人間と話すことを楽しみにしている人も増えております。未来は、既に多くの評論家の方、専門の方の研究や検証にて世に発信されています。果たしてそれがネガティブなことなのでしょうか？私は、全くそうは思いません。いかなる時代にも、青年会議所が存続し、形を変化し続け、人と人の繋がりを信じ、相手を重んじ、謙虚に人に対して対応できる人間を輩出できると確信しております。未来を語る事は、必要ですが、今を生きていない人間にその資格は無いとも思います。今を生きるとは、目の前の多くの壁をしっかり越え、地域、会社、家庭を守り、発展させる事だと思います。最小単位である、個人、個人が力を合わせ前を向き生きていければ各地域の発展は確実であると思います。まだまだ日本を始め、地域には力がある事を証明できる様活動に邁進いたします。

次なるビジョン制定に向けて・・・NEWVISION 制定委員会

各組織において、ビジョンを持ち常日頃の活動に励んでいる事かと思えます。組織としては、一番重要な部分でもあり、一つの大きな目標でもあると思います。しかし、果たしてそのビジョンを信じ進んでいるメンバーは要るのかと問われると少し疑問があります。また、時代の流れがハイスピードで進んでいく中で10年という長期でのビジョンを打ち出すことは容易いことではないと思います。しかし、明るく豊かな社会を創るという最大ミッションは決まっている中で、上田青年会議所が10年経ちどの様に変化して欲しいか、地域にとっての必要性などを最大限1年という長期にわたり調査し、検証し、何よりメンバー一人一人の想いを織り交ぜ、より現実的な制定をしたいと思えます。何より未来に夢を持ち、希望に満ちあれた誰一人取り残さない野生的なビジョンを制定したいと思えます。

未来ビジョン達成へ向け・・・未来創造検証委員会

残すところ後1年間で認承50周年時に制定したビジョンが幕を閉じます。ビジョンとしての最後の集大成として実際の検証をしっかり行い、次なるビジョンへ向かうべきかと思えます。制定時に、想いを乗せた先輩当時の想いを知り、各年の活動を検証することが大変重要です。何より目的意識をしっかり持った事業を数多く打ち出している中、その事業自体を検証し、データはもちろんのこと、想いを蓄積していかななくてはいけないと思えます。何かを始めるのではなく、今ある情報や想いを蓄積し、継承していく事が今後必須になると思えます。素晴らしい事業を数多く開催していることを周知したいのではなく、実際にどの様な効果が継続しているかが重要であると思えます。夢を掲げたのであれば、その夢を追い続け未来へ繋げる責任を感じ、活動に邁進してまいります。

～古育ちから子育てへ～・・・子は育つ検証委員会

近年のデジタルデバイス、IT ツールが多く普及し、子供たちの1日の時間のなかに多くを占めている家庭が多いのではないのでしょうか？よく耳にする部分として、人と人との繋がりが少なくなり、考える事が出来ない脳になるなどネガティブな要素が多く感じており

ますが、自身が小さい頃とは何が変わったのかと考えると、特にゲーム機においては機器自体の表現がより精度を高めただけであり特段大きな変わりはないと思います。一番影響力があり以前と変化があるのが、インターネット社会となった事であります。しかし、果たしてその時代は誰が望んでいたのか。まさしく我々の世代もしくは1世代前の方々が世の中を創る中で臨んだ形は今のインターネット社会であると思います。今更否定をしていて変わることもない中、変わるべきものは自分の考え方であると思います。次世代を担う子供達には、その素晴らしいインターネットというツールを最大限駆使し、自身の今後の人生に取り入れていってほしいと思います。逆をとれば、その社会に属さない事も不可能に近いと思います。あくまでツールとして駆使するだけで、人との関わり方、考え方は我々世代より、精査され地域で活躍する人材を発掘できると考えます。何より大人が夢を持ち生き続けることが、次世代を担う子供達が人生に夢を持てる一歩だと思えます。我々は、古育ちから子育ちへ変化する事が持続可能な子育ちだと信じ、活動を推進してまいります。

人の魅力こそ地域ブランド・・・地域活性化促進委員会

この10年において、多くの地域ブランドについて模索し、検証してきた活動、事業があります。地方という枠組みの中、都心とは違う景観があり一度は訪れたいと思っただけの素晴らしい場所であるとも思えます。しかし、インバウンドを含め、再度訪れてもらう設えはとて乏しく感じてしまいます。要因は多くあるかと思えますが、目的を持って訪れてもらう為の事業等がまだまだ少ない事、もしくは周知が一方的になっている事が、要因にあるかと思えます。その中で、ブランド自体を新規で作る事に専念してしまいがちであります。既に十分に多くの事業や団体はあります。地方の地域こそ、多くの皆さんと手を結び連携していき、0を1にするだけでなく1からどの様に推進する事が地域活性化が必要であると考えます。主張するだけではなく、共感するように心がけ、勝ち負けで判断するのではなく、事業の良し悪しを語れる関係性を構築して行くことが必要であると思えます。やはり趣旨にこだわる事で、参加者皆さんの意見の検証が薄れておりますが、持続可能な事業等を行なっていくには、記憶に残る事業構築が今求められていると思えます。

地域活性という言葉の裏には、最小単位の「人」がまちに対する想いが集い実現に向けて野生的に進み続けることが地域活性化の1歩であると思われ、活動を推進してまいります。

また、一般社団法人上田青年会議所の代名詞の1つとしてあげられる「上田わっしょい」が本年49回目を迎えます。夏の風物詩でもあるこのまつりは、市民総和楽の理念のもと市民にとって故郷を感じることができ、郷土愛を育める事業だと考えます。そして、上田市にとって大きな資源でもあります。ブランド力を強化できる素材の一つとして、受け継がれてきた熱い想いを胸に、我々が先頭に立ち上田わっしょいをより一層盛り上げていきます。

時代に即した決断を・・・組織拡大検証委員会

時代の流れと共に多くの団体の男女比は大きく変化し、女性の社会参画が容易に可能になってきております。青年会議所活動においては、男性が8割以上を占める形となり、女性の意見や発信は薄れてしまいがちであります。SDGsにもある様に、ジェンダー平等においてよりリーダーとしての女性が多くなる事が社会発展には必須であると考えます。子育て等にて時間の制限はある中で、より時間の効率化を学ぶ事で、社会参画が多くなり新たな創造が今必要であると考えます。拡大においても、女性メンバーの増強は必須であり、女性が、女性に対し青年会議所活動の推進する事自体が何より尊い価値が創造できると考えます。時代に即した体制構築と共に、学び舎として進化をし、新たな形を創造できればと思えます。

青年会議所メンバーとしての誇りを持って、会員を誘う責任を感じながら全メンバーで力を合わせ拡大活動を推進していきます。

LOMの中核としての役割・・・事務局

会社で例えると総務部となる事務局ではありますが、担当例会や事業も一番多く自己成長に一番近い委員会となります。日々、人や組織と調整を行い、時には、メンバーに向けて参加促進の依頼など決して楽しい委員会ではない中、青年会議所の本質部分に近い、「人を見分ける」能力が一番研ぎ澄まされる事が可能かと思えます。全委員会と触れ合い、主に全ての事業へ参加する事は経験値としては計り知れない成長であると思えます。また、相手に対しての気遣い、行為などにおいても通常生活では感じる事が出来ないほどの多くの経験ができる素晴らしい委員会であります。

最大限効率化とコンセンサスを時代に即す様に変化し、最重要である事業、例会の意義を伝え、参加する事ができる設えを心がけ活動に邁進してまいります。

最後に

私が考える青年会議所の魅力とは、何事も本気で真剣に一生懸命に真面目に取り組む、すなわち本気で真摯に取り組む事で、多くの無形財産が得られるという部分であります。青年会議所においては、「個人の修練」・「社会への奉仕」・「世界との友情」という3信条がありますが、私自身の3信条の捉え方というのは、「他」や「公」の為に真摯に取り組む「奉仕」を通じて、一生の「友情」を育む事ができ、さらには自分に対して「修練」を積む事ができる機会があると考えております。我々の使命とは、より良い社会づくりを目指し、地域発展に積極的に取り組む事が最重要と考えており、その事を通してメンバーと一緒に汗をかき努力をし、本気で真剣に一生懸命に真面目に取り組むからこそ、成功した喜びや感動は大きく得られ、共に準備を進めてきた者同士でその事を共有する事で深い友情に繋がり、更には結果として自分の修練となり成長を遂げる事ができる団体であると思えます。

何より尊い活動を真摯にするメンバーに対し、リーダーとして多くの時間を預かる事を念頭に置き、未来を見据え、夢を描き、希望を持って今を生き、野生的に日々進んで参りたいと思えます。

本年、理事長を務めさせていただくにあたりこれまで受けてきた沢山の恩を 2020 年度一般社団法人上田青年会議所に返していきたいと思えます。全メンバーと共に、1歩1歩、地域の為、会社の為、家族の為何より自己投資として自分の為に。

最後には共に笑えるよう真剣に取り組んで参ります。

基本事業

- ・新ビジョン制定に向けた事業の実施
- ・未来ビジョン達成に向けた事業の実施
- ・青少年教育促進事業の実施
- ・地域ブランドを形していく為の事業の実施
- ・上田わっしょい事業の実施
- ・メンバー一丸となった会員拡大運動の実施